



Shikoku
Cancer Center News
No.77

四国がんセンター ニュース



2022
1
January

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(面河溪 (上浮穴郡久万高原町) 撮影 3 俊野 健治)

今年はきっといいことがあるだろう

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって、今年は何んな一年になりますか、どういう年にしたいですか。人生山あり谷あり、去年が谷だった人も今年はきっといいことがあるに違いありません。

さて、私事で恐縮ですが、私にとって今年は大変大きな節目の年です。少し早いのですが、皆様に直接お伝えできる機会はこれが最後です。四国がんセンターを3月で定年退職します。28年前、ほぼ同時に当院に赴任した盟友河村進特命副院長と一緒に。私は当初、消化器内科医として肝臓がんと闘う日々を過ごしました。それが今や、肝臓がんは激減、肝炎ウイルス対策が進み、予防の時代になりました。胃がんや子宮頸がんなども予防が可能となり、30年のうちにすっかり様変わりです。がんの生存率も大きく改善され、さらには2040年頃には疾患としてのがんが克服されるだろうと現実味を帯びて語られています。日本の医療への関心はすでに老化との闘いに首座が移っているようです。とはいつても日本の死因の一位はがん。がんを患う人は今後もなくならないので、当院ががん専門病院としての使命を果たさなければならない時代は続きます。

私が5年前の院長就任時に掲げた目標は

- 1) 職員の元気が、患者さんの元気の基(もと)である
 - 2) 圧倒的に質の高いがん医療を提供する
- の2点でした。いま職員は元気爆発とまではいきませんが、

様々な取り組みも実り、職員の笑顔に接する機会が増えてきたと感じます。職員の高い志気に支えられてコロナ禍にもかかわらず良好な経営が維持できているのは院長としては大きなよこびであり、安心です。がん医療の質の向上に関しても、病床縮小と機能再編、専門外来(遺伝性がん診療科、原発不明がん診療科など)、患者家族総合支援センターの充実、併存疾患センターの設置等々、着実な進化を遂げることができました。愛媛県内の地域がん診療連携拠点病院等との連携体制も充実し、多くのかかりつけの先生方にも支えられ、地域における緩和ケアも進展してきました。がんゲノム医療に関して中国・四国をリードできていることは当院の誇りです。振り返れば、先達たちに導かれ、職員に支えられ、私自身とても充実した年月を送ることができました。これからは後輩たちがさらに加速して進歩と成長を持続してくれることと思います。当院を応援して下さっている皆様には深く感謝しています。これからの四国がんセンターもよろしく願いいたします。

私は4月から緩和ケア医として心機一転、臨床の場にどっぷり浸かり、人の心に寄り添って働き・学びたいと思っています。コロナ禍で世の中はすっかり様変わりしていますが、今年が皆様にとっても素晴らしい年になりますように。



(院長 谷水 正人)



がん治療

最前線

胃がんは今後減っていくと予想されているものの、2018年のがん発生数は、男女ともに第3位のがんで、まだまだ多いがんの一つです。胃がんと診断された場合、治療は進行度によって異なりますが、例えば、最も早い段階であるI期の胃がんは、切除によって高い確率（80～90%台）で治ることが見込めます。さらに最近では、治すだけでなく、身体への負担や術後の影響が少ない手術も積極的に行われています。

四国がんセンターでI期の患者さんに対して行っている『ロボット手術』は、外科医がロボットの腕を動かして手術をする最先端の手術方法です。実際にコンソール（操縦席）に入って操作してみると分かるのですが、ロボットの腕は腹腔鏡手術で用いる真っ直ぐな棒状の手術器械とは違い、関節があり自由に曲がるので人間の手と同様の複雑な動きが再現できます。また、手の震えが伝わらず、微細な動きが可能で、3Dカメラを使って自在に画像の拡大・縮小が行えるという利点もあります。力の加減が分かりにくいという弱点もありますが、傷が小さく、患者さんの体への負担や痛みが少なく、確実な手術ができることから、治療成績の向上が期待されています。

また、I期の患者さんであれば、できる限り胃を温存する手術の対象になります。例えば、胃の入り口近くにできた胃がんは、進行がんであれば胃全摘になってしまいますが、噴門側胃切除術（出口側の胃を残す手術）により胃を温存して、胃切除後の貧血や下痢を軽くすることが可能です。

このように胃がんは早期の段階で発見できれば、さまざまな治療の恩恵を受けられますが、最近懸念されるニュースがあります。新型コロナの影響です。愛媛県がん診療連携協議会によると、コロナ前の2019年に比べ2020年では、愛媛県のがん診療連携拠点病院・推進病院15施設で新たにがんの診断・治療を受けた患者さんの数は減少しました。特に胃がんは減少率が大きく（13.3%）、その中でもI期の患者さんの減少が目立っています。胃がんは早期では症状が出ないため、受診控えや検診中止によって早期胃がんの新たな患者数が減少したと考えられています。がんの発生率はコ



ロナ前後でも変わらないと考えられるので、I期の患者数が減少したということは、今後、進行がんが発見されるケースが増えることが懸念されます。適切なタイミングで病院を受診し、胃カメラなどの検診を延期しないで、胃がんの早期発見の意識を改めて持っていただきたいと思います。

最後に、四国がんセンターの胃がん手術は、2021年10月より、羽藤、柿下、西脇の新たな外科医チームで行っています。四国がんセンターの理念である「患者さんの立場にたって人格を尊重し、信頼と安全に心がけた最良のがん医療」を、誠意をもって実践してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

（第二病棟部長 羽藤 慎二）

上部消化管外科（食道・胃）



にしあきのりゆき
西脇 紀之

ほとうしんじ
羽藤 慎二

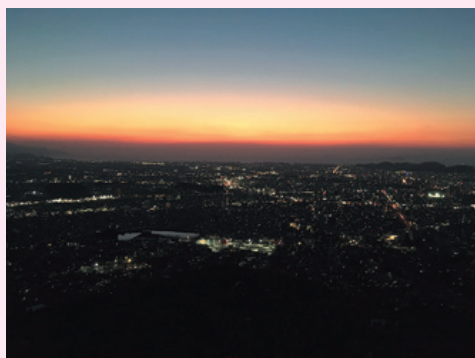
かきしたともかず
柿下 大一

☐ がんセンターだより

定年退職を迎えて登山にチャレンジ

1994年4月に当院へ初代形成外科医長として赴任して、はや27年が経ちました。この3月で谷水院長と同時に定年退職となります。皆様には患者さんの紹介、その他で大変お世話になりました。お礼を申し上げます。

当院退職後は岡山県で形成外科医を続けます。まだまだ手術を行いたいと思っていますが、診療の質を維持するためには体力と気力の鍛錬が必要と考え、1年前から毎日の散歩を平日5千歩、土日祝日1万歩を心がけています。平地の散歩だけでは物足りなく感じていたころ、6月ごろだったと思いますがテレビ愛媛の報道で松山市内の低山ハイキングが紹介されました。本格的な登山の練習用に最適な山として淡路ヶ峠（あわじがとう）が紹介されました。*松山では山のことを峠（とう）と呼ぶようです。淡路ヶ峠は繁多寺の裏山ですが、最もよく整備されているのは桑原中学近くの登山道です。山頂の説明書によると、この山には400年程



淡路ヶ峠からの夕焼けと松山市内の夜景
2021/11/14

を峠（とう）と呼ぶようです。淡路ヶ峠は繁多寺の裏山ですが、最もよく整備されているのは桑原中学近くの登山道です。山頂の説明書によると、この山には400年程

前に道後湯築城（現在の道後公園）の砦があり、砦の城主林淡路守通起の名前にちなんでこう呼ばれているようです。城主の11代目の子孫伊藤博文が1909年に道後温泉を訪れたときに淡路ヶ峠を麓から見上げて「来年、先祖の供養をしたい」と言ったとの由来があるとのことです。

淡路ヶ峠の登山を経験すると高い山に挑戦したくなり、年度内の目標を石鎚山に設定しました。7月に淡路ヶ峠（松山市273m）と皿が峰（東温市1271m）、8月に伊予富士（西条市1756m）と瓶が森（西条市1896m）、9月に石鎚山（西条市1982m）と段階的に高度を上げて目標を達成しました。石鎚山登山は登り4時間、下山2時間半で天気にも恵まれ、気分爽快な登山となりました。その後も10月に3回の登山、11月に淡路ヶ峠で夕焼けと夜景をみて年内の登山を終了しました。今後も健康管理のために趣味として登山を継続したいと思っています。



石鎚山山頂 2021/9/20



（特命副院長 河村 進）



もちもち(^.^)

晴れの日の食事も安全に

ふだんはちみしく（細かく）きりつめた生活をして、なんぞごとにはぱっとやる一面があり、「伊予の食い倒れ」よろしく晴れ食や行事食を楽しむ機会も多い。（中略）さて、もちには季節性がある。すなわち、搗きもちが秋祭りにも搗くが、新米のちは旧十月の亥の子から三月節句まで、粉を練ってつくる蒸しもちが三月節句から亥の子までとなっている。南予では、八朔から翌年の四月八日までが搗きもち、四月八日以降、八朔まではしばもち、というように、もちの

食べ方が季節によってはっきりしている。もちはこのように基本的には晴れ食、行事食であるが、ふだんにも、材料を変化させながら簡便につくれるねりもちやこねもち、だんごをしばしばつくって、ひと息いれることが多い。（日本の食生活全[®] 聞き書 愛媛の食事/編集「日本の食生活全集 愛媛」編集委員会 代表 森 正史/1998年12月5日第1刷発行より抜粋）

晴れの日に食べ継がれてきた餅。一口に餅といっても誰が作ったか、いつどこで誰と食べたか、原材料は何だったか、自分はどんな状況だったかといったことで味の感じ方は随分と異なります。当院では咀嚼、飲み込みの機能や体力が低下している方も召し上がられるよう、かみきりやすく食べやすい餅を使用しています。衛生的で安全面に配慮した食事の提供に努めています。

（栄養管理室長 酒永 智子）



医者のつづき リレーエッセイ



第十七回 山陰で水滸伝の英傑になり 損ねる話

世界四大奇書をご存じだろうか？中国で明の時代に成立した長編小説『水滸伝』『三国志演義』『西遊記』『金瓶梅』を指す。今日まで膨大な数の二次作品が綴られており、ドラゴンボールやONE PIECEでもそのモチーフは繰り返されている。水滸伝では108の魔星に導かれた英傑／悪漢が梁山泊に集まるまでが活き活きと記されている。

学術集会も水滸伝をモチーフとしている。私の業界では大きな学術集会である日本臨床細胞学会がコロナ収束中の昨年11月に米子で開かれた。久々の参加に浮かれた全国の参加者から次々と『うちをでた』『電車に乗った』『空港に着いた』などなどの投稿がSNSに写真付きである。『ソフトクリームをたべた』『飛行機に遅れた』『チケットを忘れた』『座れない』などなどの活躍も逐一活写される…そして皆、最後は梁山泊である学会の看板の前で記念写真を撮る。多数の参加者が嬉々として自分の無頼を並べたタイムラインはまるで、魔星に導かれた英雄伝のようだ！…遠足のようなものである。

私も米子まで自慢のファットボーイを駆り、道々で革ジャンやら、ソフトクリームやら、蒜山焼そばやらの写真を投稿して水滸伝に参加するつもりだった…が、仕事に追われ道中パソコンで書き物をするために、電車で米子を目指すことにした。

皆さんは『過酷特急』という言葉をご存じだろうか？揺れがすごいので電車に弱い人はすぐ酔ってしまう特急のこと

だ。大抵が振り子式特急である。日本に残る数少ない振り子式特急の代表『しおかぜ』と『やくも』を乗り継ぐ『松山～米子』はとても過酷な電車旅だ。それを超えるのはおそらく『宇和島～米子』くらいだろう。必死に書き物をしていた私は大山を越える頃すっかりゲロゲロになって、水滸伝に参加するツイートが出来なかった。ま、学会ではそれなりに良かったんだが…

さて、水滸伝には英傑が集まったあとの続きもある。ただ、続きでは皇帝の官兵になってしまうのでつまらない。大抵物語が面白いのはキャラクターが集結するまでだ。西遊記も悟空達3妖怪が三蔵法師に帰依するまでは面白いが、天竺に着いたら帰りはお釈迦様に雲にのせられて唐まで1日だし、最後は仏や聖者にされてしまう。

現実の世界も同じ。梁山泊からの帰りは投稿されることは少ない。しかし、お釈迦様はいないので、帰りも過酷だし、帰っても星や仏になつたりはしない。仕事が残まり待っている。ま、帰ってもまた何かあるというのは悪くはない。

(病理科医長 寺本 典弘)



タイムラインのエイケツ達

号 外



当院の高嶋成光名誉院長におかれましては、長年の保健衛生功労が認められ、令和3年11月の秋の叙勲において「瑞宝中綬章」を受章され、心よりお祝い申し上げます。また、本紙をお借りして皆さまにご報告いたします。





【当科の特徴】

頭頸部がんの治療を行う診療科です。代表的な頭頸部がんとして舌がんをはじめとする「口腔がん」「咽喉頭がん」「唾液腺がん」「副鼻腔がん」「頸部食道がん」などがあります。「甲状腺がん」も当科で担当しています。

【頭頸部がんの手術】

頭頸部がんには手術が治療の第一選択となるものが多くあります。早期がんでは内視鏡を用いた低侵襲手術を導入しています。進行がんでは根治切除後に、形成再建外科と協力して失われた機能や形態を再建する手術を行っています。

【甲状腺がんの手術】

甲状腺がんに対して機能温存を基本とした根治手術を行う

ように心がけています。術中に反回神経モニタリングを行いながら神経温存に努め、術後には音声リハビリも行っていきます。神経合併切除が必要な場合でも神経再建や音声改善手術を行っています。遠隔転移に対しては愛媛大学と連携して放射性ヨード内用療法を適用し、その後の分子標的薬治療まで一貫して診療を行っています。一方で良性腫瘍に対しては、より小さな傷口で腫瘍摘出が可能な内視鏡手術（VANS法）も導入しています。

【治験・臨床研究について】

新薬に対する国際共同臨床治験や国内多施設共同研究に積極的に参加しています。いままでに頭頸部がんに対して、抗がん剤のパクリタキセル、分子標的薬であるアーピタックス、免疫チェックポイント阻害薬であるキートルーダなど、多くの新薬の治験に参画してきました。現在も複数の新薬試験が進行中です。

【新しい治療】

四国圏内では唯一、光免疫治療の実施認定施設となっています。手術や放射線治療（高精度強度変調放射線治療）、化学療法、免疫治療などの標準的治療に続く新しい治療として注目されています。

（統括診療部・外来部長 門田 伸也）



エキスパートナーズ・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.53

がん治療を支える歯科衛生士の役割

がん治療における歯科衛生士の役割について紹介します。がん治療には三大療法として手術療法、化学療法（抗がん剤）、放射線療法があります。

あまり知られてはいませんが、がん治療によりお口の中に色々な副作用が生じたり、お口の中の汚れが原因で術後肺炎や傷口の感染等の合併症を引き起こすことがあります。

歯科衛生士は、がん治療が始まる前や治療中に、歯ブラシや歯間ブラシだけではなく、専門的な器具を用いて口腔ケアを行います。

手術前には、口腔内をチェックし、全身麻酔時の歯のトラブル（折れる・被せ物が取れる等）や術後肺炎等を防ぐために、歯垢や歯石を除去し、患者さんへ手術前後の口腔ケア指導を行います。

抗がん剤では、治療の影響で口内炎、口腔乾燥、粘膜の感染（カビやウイルス等）、虫歯の増加といったお口のトラブルが出現し、おいしく食事が摂れない原因となります。しかし、口腔ケアにより清潔にして、保護剤やうがいをを用いて保湿を行うことで、お口の状態が改善して、おいしく食事が摂れるようになります。また、適切な口腔ケア用品の紹介や使

用方法を、患者さんやご家族および看護師に説明しています。

緩和ケアにおいては、全身状態の低下によってうがいや歯磨きができないと、お口の中がただれて不快に感じます。その場合、歯科衛生士が病室へ伺い、口腔ケアを行うことで、お口の中のつらい症状を取り除き、患者さんの症状緩和に努めます。

このように歯科衛生士は、専門的な口腔ケアの知識や技術を用いて、口腔合併症の予防や軽減させることで、少しでも楽にがん治療が行えるようにサポートしています。

がん治療におけるお口の中の不具合やお悩みがありましたら、お気軽に歯科へお声掛けください。

（歯科衛生士 岩田 玲子 山内 晴美 川野 瞳）

お口に関連したがん治療の合併症

手術	抗がん剤	放射線治療（頭頸部）
傷口の感染	口内炎	口内炎
術後の肺炎	歯茎の痛み・腫れ	味覚の異常
	味覚の異常	口腔の乾燥
	口腔の乾燥	むし歯の多発
	知覚過敏	顎の骨の壊死
	顎の骨の壊死	口の開きにくさ
	粘膜の感染	飲み込みにくさ
	（カビ、ウイルス）	

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュースと選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』(月刊誌)へ掲載します。

選者：三瀬明子(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



来館は今日でおしまい秋暑し

(肱泉さん 77歳・男性)

この「館」は図書館や美術館ともとれますが、本コーナーへの投稿ですから四国がんセンターのことなのでしょう。来館は今日でおしまい、ということは、快癒としたいのですが、季語が、立秋を過ぎてもしっとり暑い「秋暑し」だけにどちらとも言えません。本人が患者様なのか家族なのかわかりません。わかりやすい17音の言葉の裏に、複雑な本意をしりばせた巧みな一句です。

入選 天高しノーベル賞のトップ記事

(尾崎壽一さん 76歳・男性)

2021年のノーベル賞で、四国中央市出身の真鍋淑郎さんが、物理学賞を受賞されました。きっとそのニュースのことでしょう。同じ愛媛県民として胸が熱くなりました。誇らしい気持ちが、「天高し」という季語であらわされています。

入選 秋祭り音なく暮れて鎌を研ぐ

(I.Fさん 93歳・女性)

秋祭りなら本来にぎやかなはずだけど、音もなく暮れてしまったということでしょうか。コロナ禍の2年目の秋。いつもとかわらず鎌を研ぎながら、一抹の寂しさをかみしめます。来年こそは本来の秋祭りになりますよう。

入選 目覚むれば看護師秋の朝日を浴びて

(福島徳尚さん 82歳・男性)

もしかして手術明けでしょうか。目覚めたら、もう朝で、窓から差し込む光がことさらまぶしく感じられたのでしょうか。その明るさの中で、傍らの看護師さんが頼もしく見えたのでしょうか。2音多くなっても「朝」の字をいれたかった気持ちが伝わりました。

赤とんぼの2句、ちょっとアレンジ

八階の窓に飛びおり赤とんぼ

(仙竜さん 70歳・男性)

八階の窓の外に赤とんぼが見えたのでしょうか。ずいぶん高い位置を飛んでいて驚かれたことでしょうか。「八階の窓より見える」もしくは「八階の高さに飛んで」とすると伝わりやすくなります。



パパは嫌ご機嫌取りに赤とんぼ

(T.Mさん 26歳・男性)

駄々をこねる幼子に赤とんぼを見せた、もしくは赤とんぼが近寄ってくれたと拝察しました。「パパは嫌駄々をこねたる」「幼子のご機嫌取りに」なら、作者の本意によりそっているのでしょうか?



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

治療中の働き方に関する相談を実施しています!

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和3年8月



四国がんセンターは、がん患者さんの“働きたい!”をサポートしています。お気軽に、スタッフまでお声掛けください。

ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 493人 就職延べ件数 108件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 84件

相談者の声

「病院で仕事の相談ができると思わなかった」
「話ができ、気持ちが楽になった」
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会



愛媛県がん診療連携協議会内のがん看護専門部会では、がん看護に関わる看護師の資質向上と、がん看護実践レベルの均てん化を図ることを目的に、愛媛県内のがん診療連携拠点病院、および推進病院15施設の看護管理者が情報共有を図り活動をしています。

主な活動としての研修は、メイン研修（がん看護実践能力向上研修）、トピックス研修（がん看護実践に必要で地域の看護師のニーズに合致したテーマ）、スポット研修（各施設から研修依頼されたテーマ）の3つの区分があります。COVID-19感染拡大前までは、メイン研修を40日間の日程で開催し（一部公開講座）、多数の看護師の方々にがん看護を系統的に学べる機会を提供していましたが、感染拡大の影響で研修開催の目途が立たず、中止や一部WEBへ移行しました。

今年度は、メイン研修を完全WEBと自施設実習に変更し新たな形で実施しています。その背景として重視したのが、第3期がん対策推進基本計画の分野別施策にある「がん医療の充実」および「がんと共生」です。これらの理解と実践ができることを目標に、がん看護実践能力向上研修の目的を、1. がんの基礎知識を踏まえ、多角的な支援ができる。2. 診断時から緩和ケアの提供ができる。3. ライフステージに応じた支援ができる。4. エンド・オブ・ライフを見据えた支援ができる。としています。研修日程は分散7日間の日程に

短縮し、受講生が自己の課題を明確化して在宅看護まで一連の内容を自施設で事例展開するプログラムです。研修参加の方々は、研修期間2021年8月26日（開講式）から2022年3月3日（修了式）までに、課題検討、ELNEC-J受講、各論講義、事例展開、事例発表、フォローアップの予定で進んでいます。

本研修の開催にあたっては、企画委員（拠点病院・推進病院の専門看護師、認定看護師）の協力はもとより、事例展開に対し学習環境を整備していただいている各施設の方々に改めて感謝申し上げるとともに、研修に対してのご意見を踏まえ、次年度へ向けて充実した研修ができるよう検討を進めたいと思います。

過去に研修を修了された方々が、がん看護の現場で活躍している、認定看護師を目指しているという便りもあり、本研修が実践レベルでの活動や、認定看護師を目指す方々の動機付けへと発展していることに本研修の意義を実感しています。

今後においてもがん看護専門部会は、各拠点病院・推進病院との連携を図り、がん看護に携わる看護師の資質向上に努力を続けたいと思います。



（がん看護専門部会長 看護部長 多田 清美）

診療科責任医師の交代

4月からは河村進に代わって山下昌宏が形成外科の長として診療を担当いたします。形成外科ではこれまで通り皮膚悪性腫瘍の治療、乳房再建その他の再建手術、リンパ浮腫の治療を行います。今後ともよろしくお願いいたします。



治験 CHIKEN CORNER 治験コーナー

「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。

（治験主任 宮田 篤）



● 現在募集の治験等情報

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験情報」です。

- 肺がん ……………34件
- 胃がん ……………11件
- 膀胱がん ……………3件
- 固形がん ……………13件
- 唾液腺がん ……………1件
- 胸腺がん ……………1件
- 食道がん ……………4件
- 胆道がん ……………4件
- 悪性リンパ腫 ……7件
- 頭頸部がん ……………1件
- 悪性中皮腫 ……………1件
- 大腸がん ……………8件
- 尿路上皮がん ……6件
- 子宮体がん ……………3件
- 原発不明がん ……1件
- 乳がん ……………25件
- 前立腺がん ……………9件
- 卵巣がん ……………5件
- 子宮頸がん ……………3件

（令和3年12月8日現在）



さくらひめ (東温市下林 花き研究指導室) 撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280
 愛媛県松山市南梅本町甲160
 TEL:089-999-1111
 FAX:089-999-1100
<https://shikoku-cc.hosp.go.jp>

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

- | | |
|-----------|--------------|
| 呼吸器内科 | 乳腺外科 |
| 呼吸器外科 | 婦人科 |
| 消化器内科 | 頭頸科・甲状腺腫瘍科 |
| 消化器外科 | 骨軟部腫瘍・整形外科 |
| 精神腫瘍科 | 形成・再建・皮膚腫瘍外科 |
| 緩和ケア内科 | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来 | リンパ浮腫 |
| 禁煙外来 | 放射線診断科 |
| 泌尿器科 | 放射線治療科 |
| 血液腫瘍内科 | 病理診断科 |
| 感染症・腫瘍内科 | 歯科 |
| セカンドオピニオン | 麻酔科・疼痛外来 |
| 遺伝性がん診療科 | がんドック |
| がん看護外来 | 原発不明がん診療科 |

病床数 368床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)/中舎(化) 西出(内)	仁科(化)	仁科(化) 藤澤(内)	梶原(化) 日野(化)	中舎(化) 坂口(化) 長谷部(内) 灘野
		肝・胆・膵	灘野	浅木	大野(内)		
		食道・胃		羽藤		柿下/西脇	
	外科	大腸	小林	落合		予 小島	予★落合/☆小島
		肝・胆・膵		大田		御厨	
		禁煙外来					
呼吸器	内科	○原田	○原田	○上月		原田	
	内科	○上月	二宮	○二宮	上月	二宮	
	外科	山下(素)	上野	末久	山下(素)	重松	
	禁煙外来				○末久		
緩和ケア・精神腫瘍科		三浦(緩和)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(精神)		
泌尿器科		橋根		☆橋根/★湊		松村	
		富田		松村		富田	
		沢田		沢田		湊	
血液腫瘍内科		吉田			吉田		
感染症・腫瘍内科	○濱田				○濱田		
婦人科		○竹原/△坂井 横山	予 婦人科医師	竹原 大亀 藤本	予 婦人科医師	○大亀/△藤本 横山 坂井	
		青儀 高嶋	大住 高橋	高橋	△大住 青儀	大住 三好	
		○山下(昌)	○山下(昌)		○中山		
形成外科	○藤山	○藤山	○藤山	○藤山	○藤山	○藤山	
皮膚科	門田 森田	○担当医	○門田 青井	○担当医	○藤山 青井	青井 森田	
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	○川元/△青井		川元				
骨軟部腫瘍・整形外科	○杉原/△担当医		○杉原/△担当医	△杉原	○杉原/△担当医		
放射線	診断科	菅原	桐山	清水	菅原	細川	
	治療新患	濱本	濱本	長崎	神崎	神崎	
	治療科	長崎 神崎	★長崎/神崎 ☆神崎/長崎	△濱本	長崎 濱本	長崎 濱本	
併存疾患センター	皮膚科	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	
	循環器内科	○倉田	△東	○倉田	○倉田	△船田	
	予リンパ浮腫外来		○河村/○中山		○山下(昌)		
	リンパ浮腫ケア外来		リンパ浮腫ケア(自費)		リンパ浮腫ケア(自費)		
	眼科						
内分泌/糖尿病		○川村/○羽立	○松原		○高門/○池田		
予ストーマ外来			落合	○橋根	○小島		
予麻酔/疼痛外来	首藤(監)	原田				武智	
原発不明がん診療科	担当医	△青儀	担当医	担当医	担当医	担当医	
予セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
予がんゲノム医療外来			△担当医				
予遺伝性がん診療科		○山本			○山本		
がん看護外来							
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井		
内視鏡生理検査		日野	治療内視鏡	坂口	大野	藤澤	
		藤澤	治療内視鏡	長谷部	長谷部/藤澤	吉松	
		長谷部	治療内視鏡	西出	西出	大野	

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
 ※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFIC ACCESS 交通のご案内

電車・バスでお越しの場合

松山観光港	ヒストンバス 約2分	高浜駅	伊予鉄道 横河原線 約41分	大手町駅	徒歩 約5分	松山市駅	徒歩 約22分	梅本駅	徒歩 約8分	四国がんセンター前	徒歩 約3分	新居浜駅前	約1時間40分
松山空港	リムジンバス 約15分	松山駅	伊予バス 森松-横河原線	松山駅	伊予バス 森松-横河原線	松山駅	伊予バス 森松-横河原線	松山駅	伊予バス 森松-横河原線	松山駅	伊予バス 森松-横河原線	松山駅	伊予バス 森松-横河原線

車でお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分

松山自動車道

- 松山インターから車で 約20分
- 川内インターから車で 約20分